

歯周病学

責任者名：佐藤 秀一

学期：前期

対象学年：4年

授業形式等：講義

◆担当教員

佐藤 秀一(歯科保存学Ⅲ 教授)
菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)
吉沼 直人(歯科保存学Ⅲ 准教授)
高山 忠裕(歯科保存学Ⅲ 准教授)
西田 哲也(歯科保存学Ⅲ 専任講師)
蓮池 聡(歯科保存学Ⅲ 助教)
間中 総一郎(歯科保存学Ⅲ 助教)

◆一般目標 (GIO)

歯周治療を実践するために実習と連携し、必要な歯周病学の基本知識を修得する。

◆到達目標 (SBOs)

- ①歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。
- ②歯周病の病因と病態を説明できる。
- ③歯周病の検査法、診断および治療計画を説明できる。
- ④歯周治療の術式と適応症を説明できる。
- ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。

◆評価方法

平常試験 (30%) および定期試験 (70%) で評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
佐藤 秀一	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ教授室 (本館 6階)	satou.shuuichi@nihon-u.ac.jp 03-3219-8097	
菅野 直之	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ研究室 (本館 6階)	sugano.naoyuki@nihon-u.ac.jp 03-3219-8107	
吉沼 直人	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ研究室 (本館 6階)	yoshinuma.naoto@nihon-u.ac.jp 03-3219-8107	
高山 忠裕	金曜日 17:00～18:00	takayama.tadahiro@nihon-	

	歯科保存学Ⅲ研究室（本館 6 階）	u.ac.jp 03-3219-8107	
西田 哲也	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ研究室（本館 6 階）	nishida.tetsuya@nihon- u.ac.jp 03-3219-8107	
蓮池 聡	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ研究室（本館 6 階）	hasuike.akira@nihon-u.ac.jp 03-3219-8107	
間中 総一郎	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学Ⅲ研究室（本館 6 階）	manaka.souichirou@nihon- u.ac.jp	

◆授業の方法

毎回の範囲の教科書での予習を前提に、授業ではプリントの配布、スライドの提示により理解を深めてもらいます。授業後に定期的に復習をすることにより、知識の定着を図って下さい。

【実務経験】佐藤秀一および全担当教員：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院歯周病科での臨床経験も交えながら、歯周病学で学ぶ内容がどのように実際の診療に活かされるのか具体例を示していきたいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	臨床歯周病学 第3版	村上伸也、他編	医歯薬出版	2020
参考書	歯周治療の指針 2015	日本歯周病学会編	日本歯周病学会ホームページよりダウンロード可	2016
スライ資料配付				

◆DP・CP

[DP3]コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP4]コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンス：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[CP3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

- ・必ず事前に教科書や参考書を読んで、授業内容の概要を理解しておくこと。
- ・授業後に配布資料と該当する教科書や参考書のページを繰り返し読んで知識を定着させること。
- ・配布資料は他の授業や実習で使用する場合もあるので手元に置いておくこと。

◆準備学習時間

予習と復習には各々授業時間相当である1時間を充ててを行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

Introduction to Medical and Dental Topics（1学年前期）

組織学（2学年前期）

知の構築技法（2学年前期）

口腔組織学（2学年後期）

発生学（2学年後期）

口腔生理学（2学年後期）

口腔生化学（2学年後期）

歯科放射線学総論（3学年前期）

口腔衛生学（3学年前期）

病原微生物と感染症（3学年後期）

薬理学総論（3学年後期）

衛生学実習（3学年後期）

臨床口腔病理（3学年後期）

炎症と臨床検査（3学年後期）

歯科学統合演習IV（4学年通年）

歯内療法学・歯周病学実習I（4学年前期）

歯科放射線学各論（4学年前期）

アドバンスト歯内療法学・歯周病学（4学年後期）

歯周病学実習II（4学年後期）

専門総合特別講義III（4学年後期）

歯科学統合演習V（5学年通年）

臨床実習（5学年通年）

POS型医療の構築（5学年前期）

臨床推論の構築（5学年後期）

臨床実習アドバンスト（6学年前期）

症例演習（6学年前期）

歯科学統合演習VIa（6学年前期）

専門総合特別講義I（6学年前期）

歯科学統合演習VIb（6学年後期）

専門総合特別講義II（6学年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.1	7	【遠隔】	・歯周病の特徴および歯周治療学の	佐藤 秀一	E-3-3)-(3) 歯

				1. 歯周病とは (教) pp.108-115 (参) pp.8-21	概念と基本的な術式の概要を説明できる。		周疾患の診断と治療
2		4.1	8	【遠隔】 2. 歯周組織 (教) pp.2-18	・歯周組織の発生、構造、機能、歯周組織の検査、歯周治療に必要な項目を説明できる。	菅野 直之	E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能
3		4.8	7	【遠隔】 3. 歯周病の原因 (教) pp.32-48 (参) pp.12-15	・歯周病の主因子である歯垢（プラーク）中の歯周病原細菌の特徴や動態について細菌学および免疫学的に説明できる。	菅野 直之	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因
4		4.8	8	【遠隔】 4. 歯周疾患のリスクファクター (教) pp.23-31 (参) pp.15-17, 22-23, 45-48	・歯周疾患の発症や進行に関連するリスクファクターである宿主因子（局所因子、全身因子、遺伝因子）および環境因子について説明できる。	菅野 直之	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
5		4.15	7	【遠隔】 5. 歯周組織の恒常性と破壊 (教) pp.2-6, 11-14, 42-49	・歯周組織の恒常性と破壊のメカニズムを細胞および分子生物学的に説明できる。	高山 忠裕	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因
6		4.15	8	【遠隔】 6. 症候・症状・病態による歯周病の分類 1)炎症 2)ポケット 3)歯肉病変 4)歯周炎	・歯周病でみられる歯肉の発赤、腫脹、ポケット形成等の症候や症状について説明できる。 ・歯肉炎、慢性歯周炎、侵襲性歯周炎、咬合性外傷（1次性、2次性）等について特徴を説明できる。	間中 総一郎	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

				5)咬合性外傷 (教) pp. 69-85 (参) pp. 6-19			
7		4.22	7	【遠隔】 7. 歯周治療の進め方 (教) pp.108-115 (参) pp.18-21	・歯周治療の内容および流れについて説明できる。	高山 忠裕	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
8		4.22	8	【遠隔】 8. 検査1 (教) pp.97-103 (参) pp.22-26	・歯周病の検査の目的、方法および手順を説明できる。 ・問診、チャート検査の項目を説明できる。	高山 忠裕	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
9		5.6	7	【遠隔】 9. 検査2 (教) pp.19-22, 103-107 (参) pp.22-26	・スタディキャスト、咬合分析、エックス線検査および歯周病活動性・感受性に関する診査等について説明できる。	間中 総一郎	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
10		5.6	8	【遠隔】 10. 診断・症例分析・予後判定・治療計画 1)診断 2)症例分析 3)予後判定 4)治療計画 (教) pp.108-114 (参) pp.26-29	・種々の検査から得られた情報を分析し、それを基に正確な診断を下す総合力と原因因子の分析から予後の判定、治療の進め方を説明できる。	吉沼 直人	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
11		5.20	7	【遠隔】 11. 応急処置 (教) pp. 127-137	・歯科医院への来院理由として頻度の高い、疼痛や腫脹を伴う疾患（歯肉膿瘍、歯周膿瘍、歯内歯周病変、	吉沼 直人	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療

				(参) pp.12, 32, 58-59	上行性歯髓炎, 壊死性潰瘍性歯肉炎等)の特徴と処置法について説明できる。		
12		5.21	4	12. 平常試験 *金曜日(5月21日第4時限)第4および第5実習室	第10回(診断・症例分析・予後判定・治療計画)までの授業項目の理解度の確認	菅野 直之	E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因
13		5.27	7	【遠隔】 13. プラークコントロール 1)機械的プラークコントロール 2)化学的プラークコントロール (教) pp.138-148 (参) pp.34-37, 39-41	・歯周病の直接的な原因である歯面に付着したプラークや沈着物を効果的に取り除く方法(機械的・化学的)やプラークコントロールの必要性, 患者教育・指導等を説明できる。	蓮池 聡	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
14		5.27	8	【遠隔】 14. スケーリング・ルートプレーニング (教) pp. 149-164 (参) pp. 38-39	・歯周治療の基本となるスケーリング・ルートプレーニングの目的, 術式, 術後の経過(根面露出や象牙質知覚過敏症等)および治療形態について理解する。 ・スケーリング・ルートプレーニングの使用器具, 使用方法, ポジショニングおよび研磨方法について理解する。	高山 忠裕	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
15		6.3	7	【遠隔】 15. 咬合性外傷の治療 (教) pp. 78-85, 165-172 (参) pp. 41-44	・早期接触やブラキシズム等の咬合性外傷の原因や所見, 治療方法(固定, 咬合調整, スプリント等)について説明できる。	佐藤 秀一	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
16		6.3	8	【遠隔】	・歯周基本治療に含まれる予後不良	佐藤 秀一	E-3-3)-(3) 歯

				16. その他の歯周基本治療 (教) pp.173-180 (参) pp.34-44	歯の抜歯, 暫間補綴, 口呼吸への対応等の処置について説明できる。		周疾患の診断と治療
17		6.10	7	【遠隔】 17. 再評価 (教) pp.114-115, 311-312 (参) pp.28-29	・治療の効果を判定し, 治療計画の修正に必要な再評価の目的や検査項目について説明できる。	吉沼 直人	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
18		6.10	8	【遠隔】 18. 歯周外科治療の基本的な考え方 (教) pp.181-196 (参) pp.49-50	・歯周基本治療によって歯周ポケットや病変の改善が出来ない場合, 各種歯周外科治療を行う。歯周外科治療の分類や治癒形態について説明できる。	佐藤 秀一	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
19		6.17	7	【遠隔】 19. 歯周外科治療の基本 1)基本術式 2)手術器具 3)縫合法 (教) pp.183-186	・歯周外科治療を行う際の手術器具やその取扱い方について説明できる。 ・切開, 剝離翻転および縫合法の種類およびその手技について説明できる。	西田 哲也	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
20		6.17	8	【遠隔】 20. 組織付着療法 1)歯周ポケット搔爬術 2)新付着術 3)歯肉剝離搔爬術 (教) pp.187-190, 197-201 (参) pp.50-51	・歯根面の病因因子やポケット上皮および炎症性結合組織を除去し, 歯根面に歯肉軟組織が付着するのを促す組織付着療法の適応症, 禁忌症および術式を説明できる。	西田 哲也	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
21		6.24	7	【遠隔】	・増殖した歯肉および歯肉ポケット	西田 哲也	E-3-3)-(3) 歯

				<p>21. 切除療法 1</p> <p>1) 歯肉切除・整形術</p> <p>2) 歯肉弁根尖側移動術</p> <p>(教) pp.202-205</p> <p>(参) pp.51-53</p>	<p>を除去する歯肉切除術・歯肉整形術の適応症，禁忌症および術式を説明できる。</p> <p>・歯肉弁を根尖側に移動し，歯周ポケットの除去と付着歯肉幅の増大ができる歯肉弁根尖側移動術の適応症，禁忌症および術式を説明できる。</p>		<p>周疾患の診断と治療</p>
22		6.24	8	<p>【遠隔】</p> <p>22. 切除療法 2</p> <p>1) 歯槽骨切除・整形術</p> <p>2) 歯冠長延長術</p> <p>(教) pp.205-206, 275-277</p>	<p>・歯槽骨欠損および形態異常等を修正する骨切除・整形術の適応症，禁忌症および術式を説明できる。</p> <p>・補綴的要求から十分な臨床的歯冠長を得るために行う歯冠長延長術の種類や特徴について説明できる。</p>	西田 哲也	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
23		7.1	7	<p>【遠隔】</p> <p>23. 歯周組織再生療法</p> <p>1) 骨移植術</p> <p>2) GTR 法</p> <p>3) エナメルマトリックスタンパク質を応用した手術法</p> <p>(教) pp.214-240</p> <p>(参) pp.53-54</p>	<p>・歯周組織再生や新付着を目的とする歯周組織再生療法の理論，適応症，禁忌症および術式を説明できる。</p>	佐藤 秀一	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
24		7.1	8	<p>【遠隔】</p> <p>24. 根分岐部病変の処置</p> <p>(教) pp.245-256</p> <p>(参) pp.56-57</p>	<p>・根分岐部病変の処置法であるヘミセクション，ルートリセクション，トンネリング，ルートセパレーション，ファーケーションプラスティ等について適応症，禁忌症および術式を説明できる。</p>	吉沼 直人	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
25		7.8	7	<p>【遠隔】</p> <p>25. 口腔機能回復</p>	<p>・歯周基本治療，歯周外科治療後に咬合・咀嚼機能を回復，維持するた</p>	西田 哲也	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断

				治療 (教) pp.267-288, 296-308 (参) pp.60-70	めに必要な歯周補綴, 歯周矯正, インプラント等について説明できる。		と治療
26		7.8	8	【遠隔】 26. メインテナンスおよびSPT (教) pp.309-317 (参) pp.71-75	・歯周基本治療, 歯周外科治療および口腔機能回復治療終了後, 改善された歯周組織の健康を長期維持させるためのメインテナンスおよびSPTについて説明できる。	吉沼 直人	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
27		7.15	7	【遠隔】 27. 歯周形成手術 1 (教) pp. 257-266 (参) pp. 54-55	・小帯の高位付着, 口腔前庭の狭小, 付着歯肉・角化歯肉幅の不足等の歯肉歯槽粘膜の異常に対して行う小帯切除術, 口腔前庭拡張術, 遊離歯肉移植術, 歯肉弁根尖側移動術等の歯周形成手術について適応症, 禁忌症および術式を説明できる。	高山 忠裕	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
28		7.15	8	【遠隔】 28. 歯周形成手術 2 (教) pp.257-266 (参) pp.54-55	・露出根面の被覆に対して行う遊離歯肉移植術, 結合組織移植術, 歯肉弁側方移動術, 歯肉弁歯冠側移動術等の歯周形成手術について適応症, 禁忌症および術式を説明できる。	高山 忠裕	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
29		7.16	7	【遠隔】 29. ペリオドンタルメディシン (教) pp.50-62 (参) pp.15-17, 30-31, 33, 46-48, 344-351	・ペリオドンタルメディシンとは, 歯周疾患と全身疾患の因果関係を双方向から解明する学問である。歯周疾患および歯周治療が全身の健康に与える影響について説明できる。 ・全身疾患を有していることが多い高齢者の歯周治療について説明できる。	菅野 直之	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因
30		7.16	8	【遠隔】 30. 薬物療法	・歯周治療に用いられる薬剤, 材料について説明できる。	吉沼 直人	E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断

			(教) pp.318-327 (参) pp.40-41	・局所薬物配送システムおよび経口療法について説明できる。		と治療
--	--	--	--------------------------------	------------------------------	--	-----

